



特集

第28回定時総会に過去最高の210名が参加

～いかす経営者になろう！ 理念を 人を 数字を～

2012年度 新入社員研修

東北 食と農の交流会のご案内
「中小企業憲章」の学習会のご案内



いかす経営者になろう！

理念を 人を 数字を

～第28回定時総会に過去最高の210名が参加～



4月18日、山形県中小企業家同友会第28回定時総会は、ホテルメトロポリタン山形を会場に210名が出席して開催されました。定時総会で参加者が200名を超えたのは、初めてのことで、阿部実行委員長を先頭に実行委員のメンバーが2月から参加呼びかけを行ってきた大きな成果といえます。

当日は、来賓として山形県 吉村美栄子知事をはじめ山形市 商工観光部 武田文雄部長、山形県企業振興公社 工藤誠理事(兼)経営支援部長、山形銀行 木村孝常務取締役本店営業部長、荘内銀行 鈴木布佐人常務取締役山形営業部長、きらやか銀行 東海林賢市常務取締役、高橋幹男執行役員営業統括部長、山形信用金庫 青山幸治常務理事、米沢信用金庫 志賀秀樹常務理事、鶴岡信用金庫 井上俊男常務理事、新庄信用金庫 阿部徳治常勤理事より出席していただきました。

冒頭、川合代表理事は、「私たちは厳しい経済環境でも企業の継続発展に全力を尽くしていかなければならない。そのために社内体制の構築と新しい市場創造に挑戦することが必要です。経営指針の確立と全社実践で21世紀型企業づくりをめざして、企業活動を通じ社会的責任を果たし、経営者自らの教育と次世代の若者達が働くことに誇りの持てる職場と社会の環境づくりに努めていかなければいけない。みんなで企業づくり、地域づくりに邁進し、いかす経営者をめざしましょう」と述べました。

第1部の定時総会では、議長に齋藤志直氏を選出し議事に入りました。安藤代表理事が、2011年度活動のまとめの提案を行い、東日本大震災後に山形が中継地となりいち早く被災地へ全国の救援物資を届ける支援活動に当たったこと、顔と企業が見える支部づくりをめざして全支部で小グループ活

動がスタートしたことなどを報告しました。決算報告は伊藤事務局長が提案し、会計監査報告を豊いずみ氏が行い、満場一致の拍手で承認されました。

2012年度活動方針案は松田代表理事、2012年度予算案については、伊藤事務局長が提案。「いかす経営者になろう！ 理念を 人を 数字を」スローガンに、

- 1.各企業で自社のビジョンを掲げ、全社一丸となり強靱な企業づくりをしよう！
- 2.会員一人ひとりが主人公として、経営の本音を語り合える支部活動をすすめよう！
- 3.地域に同友会理念を実践する企業を増やそう！
- 4.中小企業の生の声をあげ、「中小企業基本振興条例」の制定をめざそう！

を重点課題とした方針を採択しました。

議事後半では、新たに4名の方を加えた28名の理事を選出しました。

引き続き、一年間かけて検討してきた第2次中期ビジョン(2012～2016)を伊藤尚彦中期ビジョン委員長が発表。第2次中期ビジョンは、良い経営で地域に必要なとされる企業をめざし、そのために、同友会で自ら学び、連携していく。例会を軸とした学びをとoshi、会内に深く、会外に広く同友会理念を広めていくことなどを明文化しました。



第2部の記念講演では、166年の伝統を誇る酒蔵で革新的な経営で幅広い酒類を製造する(株)宮崎本店 宮崎由至社長(中同協副会長・三重同友会相談役)に「全社一丸の経営と革新的戦略の実践」と題して、講演いただきました。

宮崎氏は、「今一番大切なのは時代認識。それがしっかりしないと経営がぶれ、決断が出来ない」と語り、同じ商品と同じ

2012年度 役員

(敬称略)



マーケットへ同じ売り方で続けていけば値段が下がると現在のデフレについて説明し、今までは「デジタル」「大企業」が生き残るとされてきたが、今、中小企業のアナログこそが付加価値をつくり出す時代だといえます。

自社の弱みはたくさん言えるが強みを言えない経営者が多い。強みが分からないと真のお客様が分からないと強調し、「あなたの会社の強みは何ですか」と問いかけました。その上で、自社商品を例に挙げてニッチ市場でも広すぎる、カルト的共感のマーケティングでお客様を絞り込むと顧客満足度がアップしていくことを明らかにしました。

そして、経営理念が「御札」や「お守り」になっていないかと指摘し、「社員と共有し実践するには経営理念を社外に発信することで本物になる」と語り、サッカーを例に「監督は戦略を練るがフィールドに入れない。戦略はトップ、戦術はフィールド。人事でも将来を考えて行う新卒採用は戦略、中途採用は戦術だ」と述べ、新商品・新市場・新連携に挑戦し、「CS・ES・CSR」の企業をめざしていくことを提起しました。

講演後には、「お客さまの真の要求に答えていますか？」をテーマとして、グループ討論を行い、自社の強みとお客様の真の要求を考え合い、2012年度の実行推進の糸口を掴みました。

第3部の懇親会も盛況で、阿部実行委員長の挨拶、女性初となる赤塚治美氏の乾杯の挨拶で始まり、お互いの交流を深め合いながら進みました。

*大好評だった記念講演の内容は次号(同友やまがた6月号)に掲載する予定です。



会内役職	氏名	企業名
●理事		
代表理事	川合勝芳	(株)曙印刷
代表理事	安藤昌則	(株)アドクリーン
代表理事・組織担当	松田浩	(株)東北消防設備
広報担当	青柳等	やまがたシティエフエム(株)
	浅野裕幸	(株)ダンケ
社員共育委員長	阿部和人	田宮印刷(株)
食・農副部長	阿部秀顕	(株)山形ピッグファーム
政策副委員長	伊藤尚彦	(有)ライフバンク保険やまがた
	越前屋忍	(有)アド・プランニング越前屋
政策委員長	齋藤志直	(株)C S C
	佐藤一夫	(株)エム・エス・アイ
経営指針副委員長	菅原茂秋	(株)ティスコ運輸
政策副委員長	土屋和浩	大場印刷(株)
経営指針委員長	中村友祐	サンシステム開発(株)
食・農部長	半澤清彦	(有)半澤鶏卵
	渡辺隆博	(株)渡辺包装
	後藤智樹	寒河江物流(株)
	若木義寛	若木社会保険労務士事務所
	及川忠幸	(有)東根給食センター
	奥山正樹	(有)グローバル物流
	水沢正志	(株)アイ・タックル
	佐藤松雄	テン・ソフトウェア(株)
	島貫栄	(株)サン十字
	北風秀明	(株)アイディア
	菅原司	(有)菅原運送
共同求人担当	玉津弘之	(株)タマツ
女性部長	渡会智	(株)宮島屋旅館
事務局長	伊藤由紀子	山形県中小企業家同友会
●会計監査		
	豊いずみ	(有)ひなた
	西村清	西村総合保険

2012年度 新入社員研修



働くとは、生きるとは

2012年度新入社員研修が、4月5日山形ビッグウイングで開催され、昨年を上回る25社55名、内新入社員30名が参加しました。

第1部講義では、松田代表理事が、「働くとは、生きるとは」と題して、企業が求める社員像や、社員に対しての思い、経営者の考え方を話しました。

仕事をつうじて共に成長していこう



経営者の役割には、「社員が生き生きと働ける環境をつくること」「必要とされる場をつくること」があります。社員に期待することとして、仕事をおして、会社で何を残すのか、どういう生き方をしていくのか、になりたい自分の目標を持ってほしい。「ありがとう」を実感できる仕事をしようと述べました。

不安になったときは「経営理念」

仕事にはルールやあたりまえのことがあり、あたりまえをやり続けると慣れがでてくる。「なれ」をなくするために、常に“あたりまえ”を疑う姿勢を強調。また、「この会社でよかったのだろうか」「このやり方でいいのだろうか」と不安になった時は、会社には「経営理念」があり、その経営理念に立ち返ってほしいといえます。

会社の成長は社員の成長があつてこそ

「時代は常に変化し、企業はその変化に対応し成長をめざしています。あなたたちの成長が必要なのです」と社員への想いを伝えました。

感動ある人生をどう生きるか

わが社は何のために存在するのか、私はあなたのために何ができるのかと問題意識を持ち、その解決に向けて提案・

行動出来る社員になってほしい。

みんな幸せになるために生まれてきました。能力の差はありません。差があるのは“想い”だけです。自分の能力を信じて、感動ある人生にチャレンジしようと話しました。

引き続き、先輩からのメッセージでは、入社2年目の山形E旅の鈴木奈瑠美さん、(株)IMCの大山めぐみさんが、この1年の仕事をおして学んだことを報告しました。

「電話一本とるたび心臓がバクバクしていた」と語る鈴木さんは、分からないことを曖昧にせず、しっかり上司や先輩に聞くことが大事だと強調。

広告業の大山さんは、本屋さんで自分が書いたものを読んでいる読者を見て、とてもうれしかったといいます。お客さまから「お客さんが増えたよ！」という一言が励みになっていると話しました。

マナー研修

第2部は、Hair With Water ディレクター 赤塚治美氏が講師を務め、新社会人としての基本マナーについて、講義と実践指導の研修を行いました。

各グループで、委員会のメンバー、経営者がお手本となり、実技指導を丁寧に行いました。

座長のまとめ

1日の研修をおし、座長を担当した阿部常務が下記のようにまとめました。

マナーの意味が、その人自身の生き方、生きざまそのものということが印象的でした。

学生と社会人の違いはなにか。学生時代はお金を払って学びました。社会人はお金をもらって学ぶのです。会社はみなさんに投資しているのです。

高卒でも大卒でも社会人になるとみな同じスタートです。ここからが自助努力、チャレンジです。今日学んだことを実践し、それぞれの目標に向かって競争しましょう。



先輩からの一言メッセージ

有限会社 山形E旅 鈴木奈瑠美さん

私は旅行会社に勤務し、営業で外に出て仕事を取ってくるのは勿論のこと、各種チケットの手配、店頭のお客様への接待対応、ツアーの添乗など、様々な業務をしています。

最初は電話一本取るたびに心臓がバクバクし、東京までの新幹線の切符を手配するだけで30分かかる有様でした。しかし、憧れの旅行業ということもあり、一つひとつが新鮮で新しいものを身につけていくことが楽しいと感じていました。

そんな私に悩みが来たのは、三ヶ月程経った頃でした。上司からの指示に分からない点があっても、間違っただけの解釈のまま仕事を進め、結局途中で何をしていたかが分からなくなり、上司に質問すると、「さっき言ったよね。何で聞いていないの?」と叱られる日々が続きました。何が分からないのかも分からない状況で随分落ち込みました。

ある時、「新人だから分からないのは当たり前。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という諺があるように、素直に分からないと言った方がいい」という考えを受け入れ、半ば開き直りで何でも聞くようにしました。また、忘れっぽいのでとにかくメモを取るようになりました。解釈を曖昧にしないことで仕事も以前よりスムーズになり、気持ちの面でも楽になりました。皆さんも私と同じ壁に直面したら遠慮せずに、納得

出来るまで確認した方がいいと思います。向上心を持って仕事する人に、厭な顔をする人はいません。積極的に聞くことで、相手にとっても自分にとっても良い結果に繋がります。

今年2月に初めて一人でツアーの添乗をしました。上司に随行したことはありましたが、「一人で」と言われた時は一瞬固まりました。準備段階で上司や先輩に念入りに聞き、当日を迎えました。2日間、至らない点多かったのですが、苦労したことは後になっても忘れないし、いろいろ身につくものと実感しました。そして、何より一番嬉しかったのは、お客様が楽しんでいる顔を直接見ることができ、私自身やって良かったという思いでいっぱいになったことです。この経験からまずはチャレンジすることの大切さを学びました。

皆さんにも辛いと感じる日が来るかもしれませんが、続けてみる、やってみることで何かが見えてくることもあります。ゆっくり、焦らず続けることが大切だと思います。私も未熟でもっと頑張らなければと思います。これから一緒にがんばりましょう。



株式会社 IMC 大山めぐみさん

私の所属している(株)アサヒ印刷の媒体部門である、(株)IMCは、「月刊山形ZERO23」、「ヨミウリウェイ」、「子育て情報誌mamaid」などを出版しています。大学生の時に、「山形美少女図鑑」の制作のお手伝いをさせて頂いたことが入社のかきかけでした。現在、広告営業を担当し、お店への販売促進の提案が主な仕事です。最初の頃は、勝手が分からず叱られてしまうこともあり、やっていけるだろうかと悩みの連続でした。お客様に顔を出し少しずつお話をする機会をつくり、慣れてきました。お客様に広告の効果を出せなければ、広告業は存在の意味がありません。まず広告をいただくクライアントの気持ちを考えることです。どんなアプローチをすれば良いのかを常に考え、「お客様の視点」を忘れずに生活をするようになったことが、一番変わったことかもしれません。

元々雑誌の編集がしたくて入社したので、やりがいを感じています。ですが、落ち込んだり、自分のふがいなさにくやしくて泣けて来ることがしょっちゅうです。反対に、「お客さんがこれだけ来てくれたよ!」とお電話をいただいたりすると、嬉しくてたまらなくなる日もあり刺激的です。本屋さんで、私が取材したページを立ち読みしている方を見つけ、「読ん

でくださってありがとうございます! 本当にうれしいです!」と声をかけて、握手をしたい気持ちになりました。その時、読者の方がいることに気づき、はっとしました。

皆さんもなれないことの連続で、「なんでこんなことをしているのだろう。他に良い仕事があるのではないか」と思う時が訪れると思います。そのときは、「自分は何のために仕事をしているのか? この仕事を通して誰を幸せにしたいのか? 自分はこの仕事を通してどんな人間になりたいのか?」ということを考えてみてください。きっと、勇気が湧いてきます。

先日、「一隅を照らす 此れ則ち国宝なり」という仏教の言葉を教えていただきました。「たった一人の人を、全力で支え照らすことのできる人は宝物である」という意味だそうです。その言葉を聞いたとき、そんな人になりたい! と強く思いました。まだまだ未熟ですが、ご縁のあったお客様の幸せを、自分出来る精一杯の努力でお手伝いさせていただけたらと思っています。



主催：山形県中小企業家同友会 食・農部会

東北食と農の 見学交流会のご案内

日時 6月28日(木) 集合 午後1時
6月29日(金) 閉会 午後12時

会場 ほほえみの宿
天童温泉 **滝の湯** (集合場所)
(山形県天童市鎌田本町1丁目1-30 023-654-2211)

参加費 20,000円
(1泊2食、バス代、さくらんぼ狩り代など込)

スケジュール

[6/28 1日目] 大型バスで移動します

12:30 受付
13:00 バススタート
13:20 見学先① とまとの森
14:50 見学先② 王将果樹園 さくらんぼ狩り
16:25 見学先③ 六歌仙(酒蔵)
17:50 滝の湯着
18:30 懇親会

[6/29 2日目]

8:30 開会挨拶
8:40 映画上映「よみがえりのレシピ」
渡辺智史監督のお話
10:40 グループ討論
11:40 グループ発表
12:00 閉会挨拶

主催：山形県中小企業家同友会・政策委員会

山形の産業政策を考える学習会のご案内

講師 経済産業省 中小企業庁 企画課長 間宮淑夫^{としお}氏

日時 2012年6月13日(水)
受付/午後3時 開会/午後3時30分
講演 15:30~16:30
グループ討論 16:30~17:45
補足報告 17:45~18:30

会場 山形中央公民館
(山形市七日町一丁目2番39号 アズ七日町4階
電話 023-623-2150)

書籍紹介

～第28回定時総会の記念講演の講師 宮崎本店(株) 宮崎由至社長お勧めの2冊～

企業変革支援プログラム ステップ1

1,000円

企業変革のために必要な要素を整理分類し、企業発展を図るものさしとして使えるようにまとめ上げられたものです。ステップ1で企業健康診断を行い、自社の経営課題を抽出しましょう。



企業変革支援プログラム ステップ2

3,000円

「企業変革支援プログラム ステップ2」は、「ステップ1」の分析を踏まえ、より明確に経営者としての課題を分析し、企業内での実践を具体的に意識できる内容となっています。



5月支部総会案内

庄
内
支
部

第8回 庄内支部総会

■記念講演

山形から日本を変える

■講 師:慶応義塾大学

先端生命科学研究所

所長 富田勝氏

■日 時:5月17日(木)受付17:00～

第1部 支部総会 17:30～18:00

第2部 記念講演 18:10～19:20

第3部 懇親会 19:30～21:00

■場 所:東京第一ホテル鶴岡

(鶴岡市錦町2-10 TEL0235-24-7611)

■懇親会費:5,000円

山
形
支
部

第26回 山形支部総会

■記念講演

テーマは案内チラシにてお知らせ致します

■講 師:山形市立商業高等学校

女子バスケットボール

監督 高橋仁氏

■日 時:5月18日(金)受付15:30～

第1部 支部総会 16:00～17:10

第2部 記念講演 17:25～18:35

第3部 懇親会 18:45～20:15

■場 所:山形国際ホテル

(山形市香澄町3-4-5 TEL023-633-1313)

■懇親会費:5,000円

寒
河
江
支
部

第26回 寒河江支部総会

■記念講演

実践しよう!経営の本質を

～売上の変数分解をしてみませんか～

■講 師:(有)奥山経営センター

代表取締役 奥山享氏(税理士)

■日 時:5月21日(月)受付17:00～

第1部 支部総会 17:30～18:00

第2部 記念講演 18:00～19:30

第3部 懇親会 19:40～21:10

■場 所:ホテルサンチェリー

(寒河江市本町1-2-23 TEL0237-83-5000)

■懇親会費:5,000円

さ
く
ら
ん
ぼ
支
部

第18回 さくらんぼ支部総会

■記念講演

表に出ないブランド化で 存在価値の高い企業づくり

■講 師:蔵王米菓(株)

代表取締役 奥山康博氏

■日 時:5月22日(火)受付17:00～

第1部 支部総会 17:30～18:00

第2部 記念講演 18:00～19:15

会場を移動

第3部 懇親会 19:30～21:00

■場 所:さくらんぼタントクルセンター

(東根市中央1-5-1 TEL0237-43-1155)

■懇親会費:4,500円(予定)

置
賜
支
部

第16回 置賜支部総会

■記念講演 上杉鷹山の訓え～明るい未来を拓くために～

■講 師:私立九里学園高等学校 教諭 遠藤英氏

■日 時:5月24日(木)受付17:00～

第1部 支部総会 17:30～18:00

第2部 記念講演 18:05～19:30

第3部 懇親会 19:35～21:00

■場 所:ホテルサンルート米沢

(米沢市門東町3-3-1 TEL0238-21-3211)

■懇親会費:4,500円

第13回理事会報告

■日時:2012年4月11日(水)18:30~21:00 ■会場:同友会事務局

■出席:青柳、伊藤、越前屋、川合、齋藤、菅原、中村、半澤、松田、安藤、後藤、若木、及川、奥山、島貫、事務局、伊藤、矢作 17名

菅原理事が議長をつとめ、松田代表理事の開会挨拶で始まりました。議事は下記のとおりです。

■報告事項

1)中同協第2回常任幹事会(3/28)について、川合代表理事より報告をいただきました。

主な内容として、福島全研のまとめ、5月役員研修会(宮城)、6月女性経営者交流会(沖縄)、7月全国総会(岐阜)への参加、「企業変革支援プログラムステップ2」の普及について報告しました。

2)2012年度山形大学連携授業について齋藤理事が報告。

4月上旬に金融機関を訪問したと2012年度の授業計画について報告し、今年度も学生の山形、寒河江、さくらんぼ支部例会への参加依頼がありました。

3)新入社員研修(4/5)について、25社55名(内新入社員30名)が参加し、講義・グループ討論、マナー研修に学びあったことを伊藤事務局長が報告しました。

■承認事項(入・退会承認) 3名入会5名退会 4/11日現在395名

●企業名変更、支部移動

- ①(有)コックス 代表取締役 須藤長之氏(山形支部)
⇒ さくらんぼ支部へ変更
- ②(株)東日本エステート 企画部主任 矢内裕樹氏(山形支部)
⇒ 取締役不動産営業企画部部長 梅津勇一氏へ変更
- ③(有)今泉商店 常務取締役 加賀久也氏(置賜支部)
⇒ 専務取締役へ変更
- ④ 愛総合保険(有) 代表取締役 伊藤尚彦氏(山形支部)
⇒ (有)ライフバンク保険やまがた 代表取締役副社長へ変更

■討議事項

議題1:第28回定時総会の取り組み状況について

①伊藤事務局長が、4月11日現在の参加登録数と目標170名をやり切ろうとの呼びかけをしました。山形県知事の出席にともない、総会議事のタイムスケジュールの変更と役割分担の確認をしました。

②座長を担当する青柳理事より、第2部記念講演の深めあう学びと気づきのポイントと討論テーマ「お客様の真の要求にこたえていますか」

について説明がありました。

議題2:決算報告と予算(案)について

伊藤事務局長より、①2011年度決算報告(一般会計・特別会計)の報告、②2012年度予算(案)の提案があり確認しました。

議題3:2012年度役員選考委員会の報告

後藤理事より、役員選考委員会の報告があり、定時総会に提案する役員(案)名簿を確認しました。

議題4:第2次中期ビジョン(案)について

伊藤理事より、第2次中期ビジョンの最終案の提案があり承認されました。18日定時総会で発表いたします。

議題5:2012年度組織活動について

松田代表理事より、組織方針と活動計画について提案があり、議論を深めました。

2012年度は、「増強は例会にあり」を合言葉に、同友会のあらゆる学びの場を増強の機会とし、ワンゲスト運動の強化をしていくこと。会員はじめゲストの方が参加したくなるように経営課題で選べるような年間の活動計画を作成することを確認しました。

支部幹事会、理事会で「PDCA」で進捗状況を掴んでいく提案があり、各支部でできる範囲でやっていくことを確認しました。

同友会の魅力をどう発信していくか、関係性をどう強くしていくかなどの意見も出され、また、支部再編の検討についても意見がだされ、検討課題とします。

■その他

1)中同協役員研修の参加について(5/30~31 宮城) 目標20名を確認し、理事、支部・委員会等の役員に声をかけていきます。

2)次回理事会

●日時:5月9日(水) 午後6時30分~午後8時30分

●会場:同友会事務局

■閉会挨拶 安藤代表理事

■2012年度第1回理事会(4/18)報告

4月18日、定時総会終了後、第1回理事会を開催し、代表理事に川合勝芳氏、安藤昌則氏、松田浩氏が選ばれました。

新会員紹介

◎ 岡崎 正悦氏

山形印刷(株)
営業部業務推進部長
業種 印刷業
山形支部

◎ 五十嵐 久仁子氏

(株)フロッツ 取締役
業種 企画・デザイン・制作・撮影
取材業務
山形支部

◎ 難波 和明氏

(株)セロン東北 村山営業所 所長
業種 警備業
さくらんぼ支部

支部・会員名・企業名・役職変更

- (株)東日本エステート (山形支部)企画部主任 矢内裕樹氏 ⇒ 取締役不動産営業企画部部長 梅津勇一氏へ変更
- (有)コックス 代表取締役 須藤長之氏(山形支部) ⇒ さくらんぼ支部へ変更
- (有)今泉商店 常務取締役 加賀久也氏(置賜支部) ⇒ 専務取締役へ変更
- 愛総合保険(有) 代表取締役 伊藤尚彦氏(山形支部) ⇒ (有)ライフバンク保険やまがた 代表取締役副社長へ変更

同友やまがた4月号 (2012年5月1日発行/通巻230号)

From Editor

★長かった冬から春へと季節が変わり、山形同友会も過去最高の参加者で、4/18に定時総会を終え、新年度の活動がスタートしました。今年、同友会も変化していきます。すでにご覧いただいているかと思いますが、総会議案書の表紙をカラーにし、いつでも持ち歩けるようにA5サイズにしました。★もちろん内容もです。到達状況と教訓をまとめた活動報告は、経営のヒントに繋がります。活動方針も明確にし、「いかす経営者になろう!理念を、人を、数字を」のスローガンを掲げ、理念(同友会理念・経営理念)、人(社員・同友会・地域)、数字(分析・目標・成果)を活かし、3つの目的の同時実践で、強じんな企業づくりに取

り組みます。★「最高に良かった」と絶賛された記念講演は宮崎本店(株)宮崎社長(三重同友会)。山形には12年前の定時総会以来の2度目です。ここ何年と海外出張と重なり講演が実現しませんでした。今回やっと念願が叶いました。昨年の9月、中同協の会議で宮崎社長の報告を聞き、「今、これを聞かなければ」と確信しました。★今回、宮崎社長に勇気づけられ、背中を押された方がたくさんいます。アナログの中小企業の時代だと強調していました。真の中小企業の時代にしていくためにも、時代をみきわめ、高い志で自らが発光体となり、生きていく砦となり得る企業づくりを社員と共にめざしましょう。(由)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:<http://yamagata.doyu.jp/> E-mail:info@yamagata-doyu.jp